



領域・分野ホームページ



上越教育大学 美術

2024年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
五十嵐 史帆
(いからし しほ)
shiho@juen.ac.jp

美術科教育を担当。「つくる行為」に注目し、従来の概念にとらわれない視点から美術教育を再考していくことをテーマとしている。授業実践や美術館ワークショップ等を通じて実践的研究を行っている。



【教授】
松尾 大介
(まつお だいすけ)
matsuo@juen.ac.jp

彫刻を中心とした立体表現を担当。塑造、木彫、石彫、金属、テラコッタ等、様々な技法や素材を扱いながら彫刻表現の可能性を研究している。また、立体表現の教材に関する研究も行っている。



【准教授】
安部 泰
(あべ やすし)
abeyasu@juen.ac.jp

視覚デザインを担当。グラフィックデザイン、イラストレーションを専門とする。デザインの社会的な意味や役割を意識した実践的研究を行っている。制作においてはアナログとデジタル双方の長所を活かしつつ、目的に合った完成度の高い表現を研究している。



【准教授】
伊藤 将和
(いとう まさかず)
imasa@juen.ac.jp

油彩画、現代芸術を担当。平面作品と立体作品の関連性を様々な技法や材料を用い、インスタレーションとして展開する。また、ワークショップ等を通じて、美術の社会還元を研究している。



【准教授】
兪 期天
(ゆ きちよん)
yoo@juen.ac.jp

陶芸(陶磁器)、工芸を担当。粘土から陶芸作品に至る行為を通じて「ものづくり」の本質について考察し、工芸における素材・プロセス・技術のあり方について研究している。工芸という専門性が学校教育の中で活かされることを目標としている。

